

報道関係者各位

2月14日バレンタインデーに始動！！

「P.S.iLOVEYOU」PROJECT

～iPS細胞技術をあたりまえの医療に～

リバーセル株式会社
代表取締役社長 梶川 益紀

ポイント

- ✓ リバーセル株式会社（以下リバーセル）を含む企業19社18グループと公益財団法人京都大学iPS細胞研究財団（以下CiRA_F）とが協同
- ✓ iPS細胞技術への理解やあたりまえの医療にしていくための取り組みを発信し、多くの人から応援していただく機運を高めることを目指す
- ✓ キャンペーン特設サイトでは参加企業とCiRA_Fが動画を公開し、現在の取り組みやiPS細胞の実用化にける思いを語る

プロジェクトの概要

リバーセルを含む上記の参画企業とCiRA_Fは、iPS細胞技術を使った再生医療の実現を目指す私たちを応援していただける方々の輪を広げるため、2月14日（月）から新キャンペーン「P.S. iLOVE YOU（ピー エス アイラブ ユー）PROJECT」を始動します。

CiRA_Fの山中伸弥理事長が2007年にヒトiPS細胞の樹立を論文で発表してから、15年。

多くの研究者の努力により、iPS細胞を使った新しい治療法の研究開発が進展し、実用化への道をけん引する企業も出てきています。

細胞製品の原料となるiPS細胞ストックやiPS細胞ストックを拡大培養したセルバンクを製造しているCiRA_Fでは、iPS細胞ストック事業を非営利機関や企業との連携や情報共有を前提としたオープンイノベーション型の事業として進めることにより、知識・技術集積拠点となることを目指しています。また、iPS細胞を使った治療が広く社会や医療に浸透することを目指し、品質、時間、コストの問題を解決する次世代iPS細胞の開発に取り組んでいます。

この目的を達成し、iPS細胞を活用した再生医療を当たり前の医療とするためには、大学、CiRA_F、企業の皆様が一体となって諸課題に取り組んでいく必要があると考えています。そこで、リバーセルを含む参画企業とCiRA_Fが共に、この現状について一般の方にもご理解、関心を持っていただき、多くの人から応援していただく機運を高めることを目指して、バレンタインデーにキャンペーンを始動し、自分たちの想いを発信していくこととなりました。

今後も、より多くの方にご理解いただける広報キャンペーンを継続して行っていきます。

応援をよろしくお願い申し上げます。

参加企業

本プロジェクトにはCiRA_FのiPS細胞ストックを使用している、もしくは共同研究を行っている以下の企業が参画しています。

- 旭化成株式会社
- キヤノン株式会社
- キヤノンメディカルシステムズ株式会社
- 株式会社セルージュ
- クオリプス株式会社
- 大日本住友製薬株式会社
- 株式会社ヘリオス
- 日立造船株式会社
- iHeartJapan 株式会社
- 株式会社 iXgene
- 株式会社メガカリオン
- オリヅルセラピューティクス株式会社
- 株式会社レイメイ
- **リバーセル株式会社**
- リジェネフロ株式会社
- 積水化学工業株式会社
- 武田薬品工業株式会社
- サイアス株式会社
- 株式会社ビジョンケア

本プロジェクトの Web サイト

このキャンペーンでは、プロジェクト特設ウェブサイトを開設しました。
19 社の企業と CiRA_F が、それぞれの想いや取り組みについて語る動画を見ることができます。
URL : <https://www.cira-foundation.or.jp/ps-i-love-you/>



当社も上記サイト内にて、創業者である河本が事業にかける想いを語っています。
URL : <https://rebirthel.com/>

大阪・関西万博 「Team EXPO2025」への登録

2025 年に行われる大阪・関西万博のプロジェクトの一つである「Team EXPO2025」にも本日登録を完了しました。
今後も継続的に関連イベントを実施する予定です。

リバーセル株式会社 創業者 河本 宏（京都大学ウイルス再生医科学研究所 副所長）コメント

リバーセルは、T 細胞を薬剤として「誰にでも」「すぐに」「低価格で」届けるための戦略を推進しています。

現在の T 細胞を利用した治療は、患者から採取した T 細胞を基に培養する「養子免疫療法」が主体ですが、この方法だと費用も時間もかかります。また採取した T 細胞の品質に依存するために治療に至らないケースも一定数でできます。
しかし、我々リバーセルが取り組んでいる「患者の免疫系に拒絶されない汎用性の iPS 細胞を基にして T 細胞を再生する方法」が実現できれば、誰にでも投与できてかつ品質の安定した T 細胞製剤を作製することができます。あらかじめ大量に作製して凍らせておくことで、患者が必要とした時に解凍して投与することができますし、提供価格を下げることも可能になります。

再生医療とがん免疫療法を組み合わせた理想的な治療法。日本、そして京都をルーツとする iPS 細胞技術をベースとした世紀のイノベーションを実現するため、より多くの方々のご理解とご支援を期待しています。

公益財団法人 京都大学 iPS 細胞研究財団 理事長 山中伸弥氏 コメント

一つの研究成果が一般的な医療として実際に患者さんに届くには、20 年、30 年といった期間が必要とされています。
私がラボの仲間と共にヒト iPS 細胞の樹立に成功してから 15 年、国からのご支援のほか、多くの研究者の努力や患者さんのご協力により、iPS 細胞を使った技術で新しい治療法の開発が進んでいます。いくつかのプロジェクトでは、安全性と有効性の評価を行うまでに至っています。

私は今年度末に、京都大学 iPS 細胞研究所の所長を退任し、iPS 細胞に関する基礎研究を更に進める一方で、当財団理事長を継続し、iPS 細胞の再生医療への応用に貢献していきたいと考えています。
今後、iPS 細胞を使った医療の実用化に向けて、企業の皆様とともに様々な課題を乗り越えていく必要があります。iPS 細胞技術をあたりまえの医療にしていくため、社会の多くの皆様に、その意義をご理解いただき、多くの皆様に応援をしていただけましたら幸いです。

補足：リバーセルについて

リバーセルは、京都大学の河本宏教授が開発した汎用性即納型キラー T 細胞製剤を用いた治療法の臨床応用を目指すベンチャー会社です。社名は Rebirth（再生）と Cell（細胞）が由来で、2019 年 10 月に河本宏教授を創業者として創立されました。

T 細胞の一種であるキラー T 細胞（以下、単に T 細胞と表します）は、がん細胞を見つけ出して殺傷する能力を持っています。
リバーセルは、iPS 細胞や ES 細胞などの様々な組織をつくる能力を持つ多能性幹細胞から T 細胞を再生することによって、大量に他家移植用のキラー T 細胞を作製する技術を有しています。この方法を用いて、がんを殺すことができるキラー T 細胞を量産し、がんの治療に用いる戦略を開発しています。

T 細胞は、免疫反応の司令塔であり、主戦力です。つまり T 細胞を自在に操作できれば、がんだけではなく、感染症、自己免疫疾患、アレルギーなど、免疫に関わるあらゆる病気を治すことができるようになります。リバーセルは「病気になったら T 細胞製剤を点滴して治す」という時代を開拓する役目を果たします。

現在、リバーセルでは汎用性再生 T 細胞製剤を用いて WT1 抗原を標的にした骨髄性白血病の治療戦略の開発を支援しています。
この戦略は京都大学附属病院の血液・腫瘍内科、細胞療法センター（C-RACT）、先端医療研究開発機構（iACT）との連携の下、京都大学河本研究室が同病院での治験に向けて準備を進めています。同研究室は藤田医科大学と協同で汎用性再生 T 細胞製剤を用いた新型コロナウイルス感染症の治療に用いる再生 T 細胞製剤の開発も進めており、リバーセルはこの開発も支援しています。

リバーセル株式会社、T細胞療法に関すること

リバーセル株式会社

畑中（はたなか） / 三宅（みやけ）

TEL：075-414-5103

WebSite：https://rebirthel.com/

Email：contact*rebirthel.com（お手数ですがメール送信の際 * を@に変えてください）

意識調査、「Team EXPO2025」への登録、その他、CiRA_Fに関すること

公益財団法人 京都大学 iPS 細胞研究財団（CiRA_F）

広報室 中上依美里（なかうえ えみり）

TEL：075-761-3357

WebSite：https://www.cira-foundation.or.jp/

Email：contact*cira-foundation.or.jp（お手数ですがメール送信の際 * を@に変えてください）

以上